

浅間山の生立ち

浅間山は10万年前から何度も噴火をくりかえしてきた活火山です。



歴史時代の主な噴火災害

昔の記録に残っている浅間山の噴火災害のうちとくに被害が大きかったものを紹介します

天明の噴火

天明の噴火は、1783(天明3)年5月9日*に始まってから、噴火したり収まったりを繰り返しながら、次第に活動が大きくなっていきました。7月27日*頃から噴火が連続するようになり、8月4日から5日*にかけて、最も激しい噴火が起こりました。(※新編)

発生した現象	火山灰 ・ 噴石 ・ 吾妻火砕流 ・ 鎌原土石なだれ ・ 天明泥流 ・ 沓掛泥流 ・ 鬼押し出し溶岩流
主な被災地域	山麓の鎌原集落 ・ 軽井沢町(当時の軽井沢宿) ・ 吾妻川沿いの地域
死者	・ 1400名以上
倒壊家屋	・ 1000棟以上

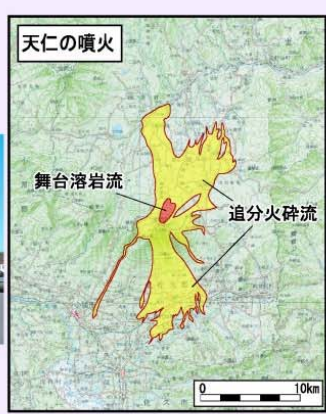
天仁の噴火

1108(天仁元)年にも、浅間山は大噴火を起こしました。古い時代のことなので天明の噴火ほどの記録は残っていませんが、中御門右大臣藤原宗忠の書いた「中右記」に噴火のときの様子が記されています。

発生した現象	火山灰(前橋で20センチメートル以上の厚さに積もりました) ・ 噴石 ・ 追分火砕流(約80平方キロメートル以上を覆いました) ・ 舞台溶岩流 [火山噴出物の量は天明の噴火の2倍以上]
--------	--

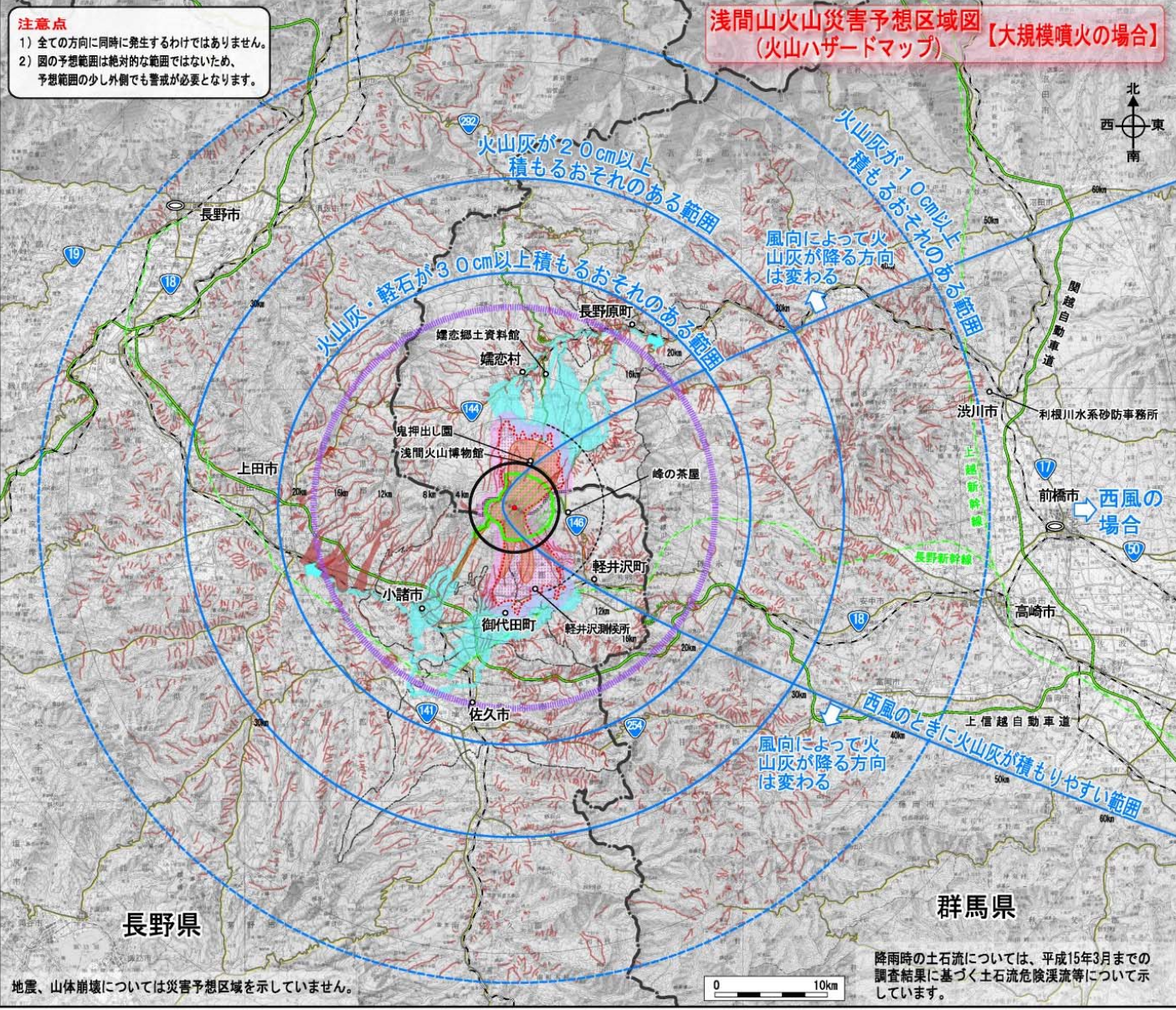


「国内に麻間峯という高山がある。治暦年間に煙を噴いたが、その後しばらく収まっていた。天仁元年七月二十一日に猛然と噴火を始め、煙は天まで登り、砂礫は国内に降りそそぎ、国内の田畑は全滅してしまった。一国の被害でこれほどひどい例は未だかつてない。稀な不思議の事件なので記し置くものである。」
十旧暦 「中右記」の現代語訳

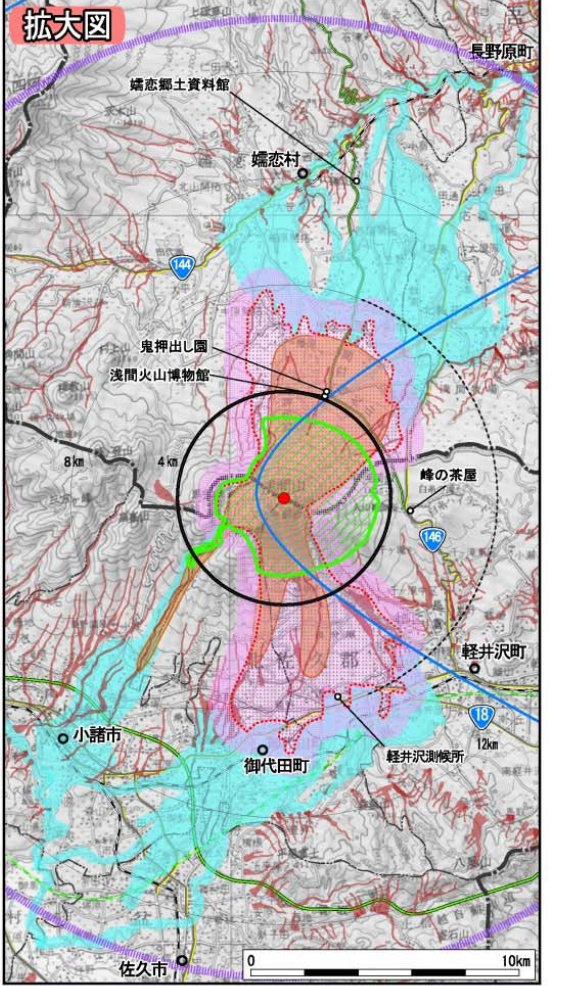


もしも天明の噴火のような大噴火がおきたら...

浅間山は過去2千年間に3回の大噴火を起こしました。たくさんの被害を出した「天明の噴火」もそのうちの一つにあたります。



この欄に示す2枚の予想図は、天明の噴火と同じような大規模な噴火が、浅間山の山頂火口から北側(群馬県側)あるいは南側(長野県側)に向かって発生した場合の災害予想区域を示しています。



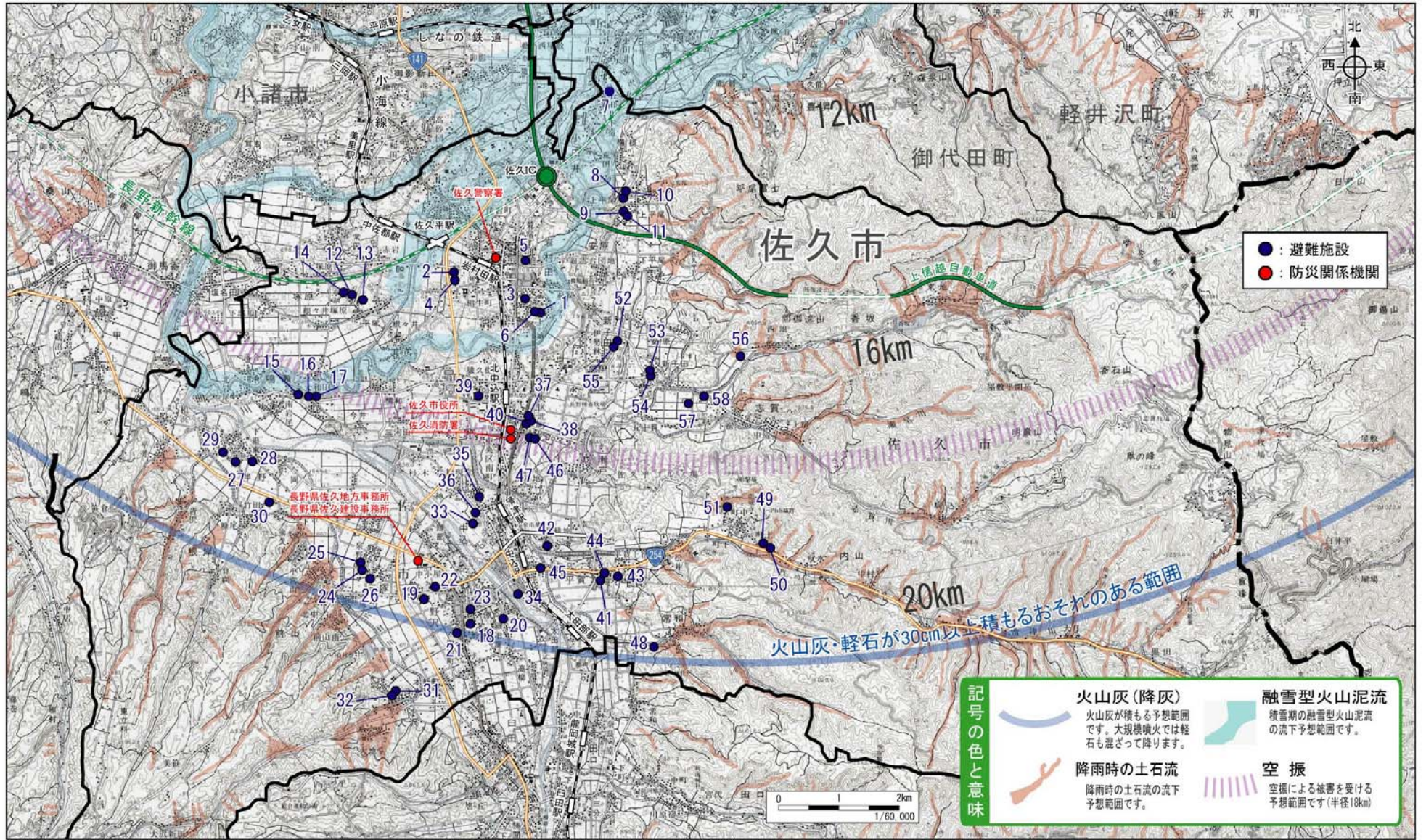
記号の色と意味	想定火口	火山ガス	噴石	空振	火山灰(降灰)	降雨時の土石流	火砕流と熱風	融雪型火山泥流	溶岩流
	浅間山の山頂火口を想定しています。	高濃度のガスが溜まりやすい予想範囲です。	実線: こぶしより大きい噴石が飛んでくる予想範囲です(半径4km)。破線: 風下側で小石が飛んでくる予想範囲です(半径8km)。	空振による被害を受ける予想範囲です(半径18km)。	火山灰が積もる予想範囲です。大規模噴火の時には軽石も混ざって降ります。	降雨時の土石流の流下予想範囲です。	火砕流と熱風の流下予想範囲です。	積雪期の融雪型火山泥流の流下予想範囲です。	溶岩流の流下予想範囲です。

避難施設

避難の際には、市役所からの指示に従って行動してください。避難が必要になった時には、広報車などにより市役所から噴火の被害を受けにくい避難施設が指定されます。

下に示した噴火の影響範囲は、天明の噴火と同規模の噴火が発生したときの予想範囲です。なお、これよりも大規模な噴火が起きた場合には、さらに広い範囲に影響が及ぶと予想されます。

避難に関する問い合わせ先
佐久市役所 電話0267-62-2111



この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び20万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平15開補、第239号)



地区別の避難施設一覧

地区	番号	施設名	所在地	電話(0267)
岩村田	1	岩村田小学校	大字岩村田2641-2	87-3309
	2	浅間中学校	大字岩村田1361	87-2410
	3	岩村田保育園	大字岩村田3150	87-2281
	4	浅間体育センター	大字岩村田1340-3	88-7408
	5	浅間会館	大字岩村田543	87-2110
	6	岩村田児童館	大字岩村田2957-1	87-8633
小田井	7	荒田同和对策集会所	大字小田井1201	-
	8	平根小学校	大字上平尾936	87-3539
	9	平根保育園	大字上平尾847-1	87-2094
	10	平根児童館	大字上平尾953-7	87-2030
中佐都	11	上平尾同和对策集会所	大字上平尾793-1	-
	12	中佐都小学校	大字塚原808	87-3418
	13	中佐都保育園	大字塚原787-1	87-3419
	14	中佐都児童館	大字塚原815-1	85-8565
高瀬	15	高瀬小学校	大字鳴瀬1350	87-2459
	16	高瀬保育園	大字鳴瀬1371	87-2155
	17	高瀬児童館	大字鳴瀬1378-1	88-8113
	18	野沢小学校	大字野沢472-3	82-0109
野沢	19	野沢中学校	大字野沢315-1	82-0360
	20	野沢児童館	大字野沢270-24	83-8682
	21	野沢会館	大字野沢183	82-0116
	22	野沢体育センター	大字野沢339-1	83-7889
前山	23	野沢同和对策集会所	大字野沢130-1	-
	24	泉小学校	大字三塚273	82-0394
	25	泉保育園	大字三塚300-2	82-1259
	26	泉児童館	大字三塚282-3	82-3508
岸野	27	岸野小学校	大字岸野1725	82-0384
	28	岸野児童館	大字岸野1474-2	83-0511
	29	農村環境改善センター	大字岸野1802-1	83-0725
	岸野	30	岸野同和对策集会所	大字岸野203-1
31		大沢保育園	大字大沢789-1	82-1128
32		大沢地区社会体育館	大字大沢789-1	82-0141
33		中込小学校	大字中込491	82-0065
中込	34	中込第一保育園	中込3-24-5	82-0644
	35	中込第二保育園	大字中込1790	82-0432
	36	中込児童館	大字中込484-1	82-7234
	37	佐久市総合体育館	大字中込2939	82-2020
平賀	38	佐久市武道館	大字中込2941	82-2020
	39	佐久市勤労者体育館	大字中込3384-1	87-3791
	40	佐久市研修センター	大字中込2947	84-0551
	41	佐久城山小学校	大字平賀5325-1	82-0356
内山	42	中込中学校	大字平賀2340	82-0725
	43	平賀保育園	大字平賀5038	82-0122
	44	佐久城山児童館	大字平賀5332-2	83-9500
	45	中込会館	大字平賀1897	82-0504
三井	46	佐久市障がい福祉センター	大字瀬戸1177-2	82-0991
	47	農村婦人の家	大字瀬戸1201-1	83-1495
	48	常和同和对策集会所	大字常和2826-3	-
	49	内山保育園	大字内山5206-1	82-2648
志賀	50	内山地区社会体育館	大字内山5201	82-0483
	51	内山同和对策集会所	大字内山5899-1	-
	52	東中学校	大字新子田1396	87-2392
	53	東保育園	大字新子田880-2	87-2271
東	54	東児童館	大字新子田897-1	85-8238
	55	東地区社会体育館	大字新子田1382-1	87-2695
	56	香坂同和对策集会所	大字香坂3113	-
	57	東小学校	大字志賀6128	88-6829
東	58	東児童館	大字志賀6059-1	87-2545

防災関係機関連絡先

関係機関名	電話
市役所	佐久市役所 0267-62-2111
消防	佐久消防署・佐久市消防団 0267-62-0119
警察	佐久警察署 0267-68-0110
火山観測	気象庁 軽井沢測候所 0267-45-1304 東京大学 浅間山火山観測所 0267-45-7551
ライフライン	佐久水道企業団 0267-62-1290 中部電力(株) 佐久営業所 0267-62-1141 NTT東日本(株) 長野支店(災害対策室) 026-225-4361 小諸ガス管理事務所 佐久支所 0267-68-5252
その他	長野県 佐久地方事務所 0267-63-3111 (代表) 長野県 佐久建設事務所 国土交通省 利根川水系砂防事務所 0279-22-4177 (代表) 日本道路公団 東京管理局 八王子管制局 0426-91-1175 日本道路公団 佐久管理事務所 0267-68-8861 JR東日本 中込駅 0267-62-0002 JR東日本 佐久平駅 0267-68-8162 財団法人 砂防・地すべり技術センター 03-5276-3272

普段から災害に備えて

浅間山ではどのような噴火災害が考えられるのかこの「浅間山火山防災マップ」で知っておきましょう。

普段から非常持ち出し品を備えておきましょう。

家族みんなで避難場所を確認しておきましょう。

地震に備えて家具の固定や壁の補強をしておきましょう。

もし噴火がはじまったら？

気象庁が発する「火山情報」に注意しましょう。

市長から避難勧告などの指示があった場合には従いましょう。

臨時火山情報がでたら、その後のニュースや市役所の情報に注意しましょう。

緊急火山情報がでたら、いつでも避難できる準備をしましょう。

テレビやラジオ、市役所の広報などから正しい情報を入手し、デマやうわさ話にまどわされないようにしましょう。

避難する場合は...

- あわてず落ち着いて行動する。
- 戸締り、電気、ガスの元栓を確認する。
- 貴重品を忘れずに持つ。
- 市街地では車を使わず歩いて避難する。
- お年寄り、赤ちゃん、身体の不自由な人、外国人などの避難を助きましょう。



災害用伝言ダイヤル(171)

避難時の安否情報の確認には、NTTの「災害用伝言ダイヤル」が便利です。

局番なしで171にかける。自動アナウンスにしたがって簡単に自分のメッセージを録音し、知人の安否情報を再生できます。

避難のときの持ち出し品

- 噴火が長引くと、避難先で何日も暮らすことも考えられます。大切なものはすぐに持ち出せるよう、心がけておきましょう。
- 特に火山噴火の時に必要となるもの
- ヘルメット(防災ずきん) → 噴石や落下物から頭を守る。
 - マスク → 細かい火山灰を吸い込むのを防ぐ。
 - ゴーグル → 細かい火山灰から目を守る。
- 主な持ち出し品リスト
- 必要なものにしるをつけて、普段から備えておきましょう。
- 着替え、下着類
 - 洗面用具、衛生用品
 - 手ぶくろ・軍手
 - かさ、カップ
 - リュックサック
 - 毛布・タオル
 - 非常食、嗜好品
 - 懐中電灯と電池
 - 携帯ラジオ、テレビ、電池
 - 常備薬、救急箱
 - 現金、小銭
 - シート、ビニール袋
 - ガムテープ(粘着テープ)
 - (腕)時計
 - 通帳、カード、印鑑、証券など
 - 健康保険証
 - 携帯電話(充電器など)
 - ライター
 - ちり紙、ティッシュペーパー
 - ほ乳ビン、ミルク、おむつ、母子手帳(赤ちゃんがいる場合)
 - お年寄り用常備薬など(お年寄りがいる場合)
 - その他個人的な貴重品
- 位牌や大切なアルバム、予備のメガネ、パソコンの重要なデータ、仕事の許可証など